

部長会議付議事案書（報告）

（令和4年5月24日）

提案課名 スポーツ推進課

報告者名 北口 慶太

事案名	「女子野球タウン」認定に向けた取組みについて	有 資料 無
提案趣旨	本市が、一般社団法人全日本女子野球連盟による「女子野球タウン」としての認定を受けることで、女子野球の普及を通じたジェンダー平等や女性のスポーツ環境の醸成を図るものです。	
概要	<p>「女子野球タウン」は、女子野球の普及や地域活性化等を推進することを目的に、シティープロモーションの一環として女子野球を活用することや、市区町村の特性を生かしたオリジナル企画の提案などの一定の基準を満たす自治体が認定され、令和3年度末時点で、全国10市町が認定を受けています。</p> <p>本市では、はだのふるさと大使である元女子プロ野球選手の加藤優さんを中心とした女子野球の普及を進めることなどにより、県内初の「女子野球タウン」の認定を得て、都市イメージ（女性に優しいまち、ジェンダー平等や共生社会に積極的に取組むまち）の向上や、女子野球の普及と地域活性化、ミズノとの連携強化によるスポーツ施策等の充実、女子野球の支援を通じた女性のスポーツ環境（活躍の場、運動実施率の向上）の醸成等を図ります。</p>	
経過	<p>令和3年7月～ 加藤優さんのはだのふるさと大使就任後、加藤優さんの協力により、少年少女軟式野球教室の開催やクライミングパークでのPR動画の撮影などの様々な取組みを実施</p> <p>令和4年3月 加藤優さんから本市に「女子野球タウン」認定への協力依頼</p> <p>〃 4月 （一社）全日本女子野球連盟に認定申請の事前相談</p> <p>〃 5月9日 （一社）全日本女子野球連盟に女子野球タウン認定申請書を提出</p>	
今後の進め方	<p>令和4年5月31日 「女子野球タウン」として認定予定 認定後、市議会議員及びマスコミに情報提供</p> <p>〃 6月2日 加藤優さんの「Sunny Catchball女子野球塾」開講</p> <p>〃 6月以降 チラシ・ポスターなどにより、女子野球の普及啓発 ミズノ株式会社・小田急電鉄株式会社との連携による普及啓発事業の展開 女子野球タウンとして対外的PRにより地域活性化を図る。</p>	

女子野球タウン認定事業について

(令和4年5月24日 スポーツ推進課)

女子野球タウン認定事業とは、女子野球普及と地域活性化のために（一社）全日本女子野球連盟が令和2年（2020年）9月より募集を始めた新しい取り組みです。

女子野球の環境を向上させることを目的に、市区町村と連携し、女子野球の普及のみならず市区町村のPRや地域の活性化を共に行っていこうとするものです。また、女子野球を通じて国際社会の共通目標として掲げられているSDG'sの中の「5 ジェンダー平等を実現しよう（女子野球を通じてジェンダー平等の実現）」と「11 住み続けられるまちづくりを（女子野球を通じて、女性の活躍・地位向上を目指し、住みやすい活気がある街づくり）」を推進しようとするものです。

認定された市区町村は、女子野球タウンロゴを使用してプロモーション活動を行います。



【現時点の認定都市】

(1) 愛媛県松山市

2006年から15年間にわたり女子野球界最大のイベントである全日本女子硬式野球選手権大会を開催。女子野球ワールドカップの開催実績もある。

(2) 埼玉県加須市

全国高等学校女子硬式野球選抜大会を開催、埼玉西武ライオンズ・レディースと連携し、市のホームページでチーム紹介をしているほか、ふるさと納税の返礼品としてチームのグッズを追加。花咲徳栄高校・平成国際大学といった高校・大学・クラブチームのトップレベルのチームが集まる。

(3) 佐賀県嬉野市

「女性が喜ぶまちづくりを、女子野球とともに。」を目標に掲げ、女性の活躍・地方創生を目指している。女性目線の施設改修を目標に掲げ、女性アスリートが使用しやすいスポーツ施設づくりを進める。マドンナジャパン合宿誘致や女子選手を起用した市のPR活動の実施を掲げる。

(4) 広島県廿日市市

広島県全体として「好きじゃけん女子野球 広島県！」というスローガンを掲げている。県立佐伯高等学校女子野球部と新規クラブチーム「はつかいちサンブレイズ」との連携により地域活性化の取組みを行う。

(5) 広島県三次市

女子野球の大会や合宿誘致を行う、女子硬式野球西日本大会を開催。16,000人収容のスタジアムがある。

(6) 北海道喜茂別町

NPO法人北海道ベースボールクラブと地域連携協定を締結し、北海道唯一の女子硬式野球クラブ「ホーネッツ・レディース」のホームタウンとなっている。

(7) 滋賀県東近江市

地域密着型の女子硬式野球社会人チーム「東近江バイオレッツ」のホームタウン

(8) 長野県松本市

女子野球の普及・発展のための環境整備と地域振興につながる事業を展開

(9) 兵庫県淡路市

淡路ブレイブオーシャンズと連携、練習環境の確保と選手の移住・定住及び就業支援を実施

(10) 和歌山県田辺市

田辺スポーツパークを拠点として合宿や大会を誘致、大学選手権を開催

秦野市としては、女子学童野球選抜チーム「秦野桜エンジェルス」が2018年に県大会で優勝した実績や、県内で2チームのみの中学女子硬式野球クラブチーム「西湘Future」が秦野市を本拠としており、活躍していること、また、本市出身の元プロ女子野球選手の加藤優さんが「はだのふるさと大使」となり、本市を拠点とした女子野球スクールを実施すること、新たにカルチャーパーク等の指定管理者となったミズノグループ構成企業のミズノ株式会社が（一社）全日本女子野球連盟の協賛社であることを踏まえ、「女子野球的普及振興とこれを活用した地域活性化」及び次に掲げる事項を目的に、神奈川県内初の「女子野球タウン認定」を目指します。

- 「女子野球タウン」認定による都市イメージ（女性に優しいまち、ジェンダー平等や共生社会に積極的に取り組むまち）の向上
- 加藤優さんの女子野球スクールによる女子野球の振興と地域への貢献
- ミズノとの連携強化によるスポーツ施策等の充実
- 女子野球の支援を通じた女性のスポーツ環境（活躍の場、運動実施率の向上）の充実
- 大きなコストが生じず、上記のような環境醸成が図られる。

【今後の予定】

令和4年

5月31日	・一般社団法人全日本女子野球連盟による「女子野球タウン」認定（見込み）
6月上旬	・市議会議員及びマスコミに情報提供
6月2日（木）	・加藤優さんの「Sunny Catchball女子野球塾」の開講
6月以降	・チラシ・ポスターなどにより、女子野球的普及啓発 ・ミズノ株式会社・小田急電鉄株式会社との連携による普及啓発事業の展開 ・女子野球タウンとして対外的PRにより地域活性化を図る。

普及・啓発に当たっては、女子野球タウンロゴのほか、市内在住のイラストレーター鬼頭莫宏氏のイメージイラストを活用していく。



また、加藤優さんによる初心者も参加できる野球教室などを実施し、野球の普及を図ります。⇒令和4年度は、スポーツ協会主催により3回実施予定

さらに、加藤優さんをはじめ、女子野球関係者の協力を得て、秦野市のPR活動なども行っていきます。